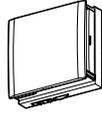


三菱パイプ用ファン（**強制**給気ユニット・居室用）

形名
V-08PQF₃ (-BE,-CK)
V-08PQFF₃ (-BE,-CK)



取扱説明書

お客さま用

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 添付別紙の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」とともに大切に保管してください。

この製品は日本国内用ですので、日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

	警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
	●ガスを漏れに気付いたときは、換気扇（電気器具その他）のスイッチの入・切をしない (爆発や引火の原因になります)
	●製品を水につけたり、水をかけたりしない (ショートや感電の原因になります)
	●改造や分解はしない (火災・感電・けがの原因になります) 修理はお買い上げの販売店または「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」にご相談ください。
	●交流 100V を使用する (直流や交流 200V を使用すると感電の原因になります)
	●お手入れの際（本体の水滴を拭き取る時等）は必ず分電盤のブレーカーを切る (感電やけがの原因になります)
	●異常・故障時には、直ちに使用を中止する そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。 〈異常・故障例〉 ●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●回転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です。） ●こげ臭いにおいがする。 ●本体取付部に腐食・破損等がある。等 ※すぐに分電盤のブレーカーを切って、販売店へ点検修理を依頼してください。

	注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない (本体・部品の落下によるけがの原因になります)
	●直接炎があつたり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所で使用しない (火災の原因になります)
	●運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない (けがの原因になります)
	●長期間で使用にならないときは、分電盤のブレーカーを切る (絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)
	●お手入れの際は手袋を着用する (けがの原因になります)
	●部品の取付けは確実に (落下によるけがの原因になります)

ご使用にあたってのお願い

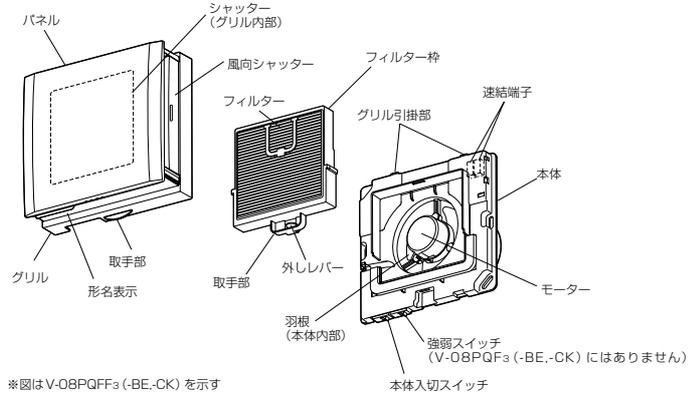
- 高温（40℃以上）になる場所で使用しないでください。
(モーターの寿命が短くなる原因になります)
- 下記環境下では、結露水が滴下することがありますので、乾いた布で拭き取ってください。
(運転中に滴下する場合は、必ず分電盤のブレーカーを切り、運転を停止した状態で拭き取ってください)
室外温度が-10℃を下回り、かつ室内温度が15～20℃、室外湿度45%RH以上
- 外気温が低いときや霧の多いとき、台風など外風・雨の強いときには運転を停止し、シャッターを閉じてください。
(運転を継続した場合は、フィルター枠に水がたまり、あふれるおそれがありますので、清掃してください)
- 吹出口近くの天井・壁にほこりなどが付着する場合があります。約2か月に1度を目安として清掃してください。
- 吹出口をふさぐような障害物を製品のまわりに置かないでください。
- グリル（パネル）を無理に押したり、引っ張らないでください。また、グリルに物をかけたりしないでください。
(パネル・シャッター動作不良や破損の原因になります)
- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。（中性洗剤をご使用ください）
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンジャーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など
(異常音の発生、変質、変色、塗装はがれの原因)

本製品のはたらき

新鮮な外気をファンで取り入れ、室内に空気の流れをつくります。

- 高気密化した最近の住宅では、従来の住宅のように自然な換気量が十分ではありません。本製品は、排気用のファンと一緒に使用することで、常に住宅内に必要な空気の流れをつくり、シックハウス症候群の元となる室内の汚染物質の滞留を抑えます。外気はフィルターを通して花粉やほこり等を取り除いて取り入れます。
(特に戸建住宅では、風の流れをつくる給気場所の明確化と、必要給気風量確保のため本製品の設置が効果的です)

各部のなまえ



※図はV-08PQFF3(-BE,-CK)を示す

■フィルターについて

フィルター名	高性能除じんフィルター（交換用：P-08QLK）
特長	外気に含まれる花粉やチリ、ほこりなど、10 μm (0.01 mm) 以上の粒子を約97% (質量法) 取り除いて、きれいな空気を室内へ取り入れます。 (フィルターには表面に付着したカビ菌の繁殖を抑えるため、抗菌剤を添着しています。)

※フィルターはお近くの電気店にお問合せいただくか、三菱電機ストアでお買い求めください。

使用方法

24時間換気用としてご使用されるときは、特別な場合（運転異常・点検・お手入れ）を除き常時本体入切スイッチを「入」でご使用ください。また、強弱スイッチ付機種の場合は、適正な換気量を確保するため、現在の風量設定（強運転もしくは弱運転）のままでお使いください。

■運転のしかた

●本体入切スイッチを「入」にします。停止するとき「切」にします。
強弱スイッチで風量「強」「弱」を切替えます。

お願い

- 運転するときは必ずシャッターを開いてください。

●V-08PQF3(-BE,-CK)

●V-08PQFF3(-BE,-CK)

■シャッター開閉のしかた

●パネルを上下にスライドさせることでシャッター（グリル内部）が開閉します。
(パネル中央部付近で操作します)

お願い

- 外気が低温のとき、結水などにより操作が固くなる場合があります。その場合は一度グリルを外して操作してください。
- シャッターを開いたときはシャッターがパネルに密着していることを確認してください。
- シャッターを閉じるときは運転を停止してから閉じてください。
- シャッターを閉じたときは手をグリル周囲にかけずなどして、風がもれていないか確認してください。

■吹出し方向の変更のしかた

●左右の風向シャッターを開閉することで吹出し方向の変更ができます。（左右吹出しのみ）

■風量調節のしかた

●左右の風向シャッターを1か所または2か所閉じて給気量を調節できます。

× ●風向シャッター閉の場合、外気が低温のときの運転中に風向シャッター表面に結露することがあります。

■風量調節のめやす

1か所（片側のみ）閉の場合	…3か所開の約92%
2か所（両側）閉の場合	…3か所開の約80%

※給気を止めるときはシャッターを閉じます。

